

家庭ごみの減量化・資源化推進への取組状況について

1 経緯等

- 平成27年10月 家庭ごみの有料化について諮問（市⇒清掃事業審議会）
- 28年 5月 家庭ごみの有料化について答申（清掃事業審議会⇒市）

直ちに家庭ごみの有料化を実施するのではなく、それ以外の施策を積極的に講じるよう要請するが、家庭ごみの減量化・資源化の推進が見られない場合は、有料化の手法を用いるべき

- 28年 7月 家庭ごみのごみ減量の目標値 470g設定
※27年度実績 570gからマイナス100gの減量目標
- 30年11月 家庭ごみマイナス100gのゴール設定
目標の達成期限は、令和3年（2021年）3月までとする。

2 平成30年度取組

(1) 新規事業等

① 草木類資源化モデル事業

◆ 剪定枝粉碎機の無料貸出

市民に剪定枝粉碎機を無料で貸し出し、家庭から排出される剪定枝の家庭内処理を促進した。（貸出回数 10台）

○ 貸出回数 66件 資源化量 2.5トン



◆ 草木類のモデル地区での分別収集

モデル地区において、剪定枝等の分別収集を行い、民間の処理施設においてチップ化を行った。

○ 収集量・資源化量 28.71トン

② 家庭のごみ・資源物の正しい出し方ガイドブックの作成・配布

30年12月に全戸配布 約28万5千世帯



③ 親子で取り組む「もやせるごみ」減量実践モニター事業

「もやせるごみ」に多く含まれる生ごみの減量のため、「ダンボールコンポスト」「生ごみの水切り」等に親子で取り組んでもらい、計量記録及びごみ減量のアイデアを集め、市民にホームページ等で広報を行った。

参加世帯数 137世帯

○紙がごみにまざらないように、学校からのプリントなどを「資源物箱」作って分けるようにしたよ!



○カレーが残ったなべに、ご飯を入れて炒めてカレーチャーハンにしたよ。
お鍋もきれいになって、洗うのも楽になったよ!



(2) 継続事業等

① 3R推進事業

ごみ出しカレンダーの作成・配布 約28万5千世帯
街頭キャンペーン等の実施

② 資源化推進事業

古紙類 13,348トン 電球・蛍光灯・乾電池・スプレー缶類 338トン

③ 資源物回収活動の活性化推進事業

実施団体数 461団体
回収量 2,755トン

④ 小型家電リサイクル事業

収集量 13トン

⑤ ホームフードリサイクルグリーン事業

生ごみ処理機器への補助 199基
ダンボールコンポスト講座の開催 14回 参加人数 120人

⑥ もやせないごみ資源化事業

金属類の収集量 1,740トン 資源化量 918トン

(3) 住民説明会の実施

① ごみ分別説明会	115回	2,973人
② 市政出前トーク	77回	2,555人
計	192回	5,528人



(4) 広報

①市民のひろば

- ・コラム「ごみマイナス100gへの道」等の連載 (28年11月号から)

②ごみ分別アプリの配信

- ・平成28年11月配信開始
- ・平成31年3月末現在実績 ダウンロード数17,604件 アクセス数518,892回

③市政広報番組

- ・KTS ぐっとグッドかごしま
- ・KKB かごしま元気BOX など

④イベント出展・チラシ配布等

- ・農林水産春まつり、錦江湾はなまつり、環境フェア in 山形屋
環境フェスタ、消費生活エキスポ など
- ・中小企業のひろば

⑤大学生向け説明会及びチラシ配布

- ・市内6大学で開催
鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館、鹿児島純心女子短期大学、
鹿児島県立短期大学、鹿児島女子短期大学

3 ごみ量の推移 (市民1人1日あたりの家庭ごみ量)

(単位: グラム)

